

DATA SHEET

FortiManager

提供形態：



アプライアンス



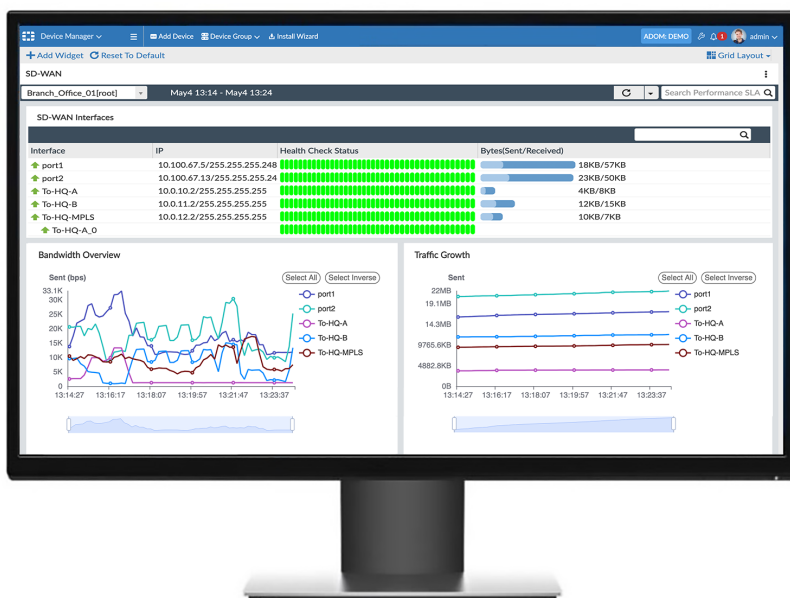
仮想マシン



クラウド

FortiManager は、複数のフォーティネットのデバイスを単一のコンソールからオートメーションドリブンで集中管理することが可能です。プロビジョニングの合理化と革新的な自動化ツールによって、ネットワークデバイスの完全な管理と可視化を実現します。

フォーティネット セキュリティ ファブリックとの統合により、高度なセキュリティアーキテクチャと自動化されたネットワークオペレーション機能が基盤となって、ネットワークセキュリティの保護と最適化が実現します。



一元管理：ポリシーやオブジェクトの集中管理、自動的なリビジョン履歴とコントロール、高度な RBAC（ロールベースのアクセス制御）機能により、スクリプトや IPS をロールに分けて管理し効率化します。

セキュリティ ファブリックオートメーション：ZTP による SD ブランチ（FortiGate およびアクセスデバイス）へのデプロイメントプロセスを簡素化します。また、メタ変数を直接利用する強力なテンプレートにより、数千もの拠点へのスケーラブルなプロビジョニングが可能です。

NOC クラウドサービス：FortiManager プラットフォームのサービスとして提供され、クラウドからブル型での利用、またはインストール可能な新しい管理拡張機能を備えています。

主な機能と特長

- 数千台の FortiGate NGFW や セキュア SD-WAN のネットワークやセキュリティのポリシーを一元管理し、FortiSwitch、FortiAP、FortiExtender にも対応
- 内蔵の FortiGuard モジュールを利用して、セキュリティコンテンツやシグネチャを一元的に配信
- 大規模**セキュア SD-WAN**の構成、導入、保守を簡素化。また分散サイトの集中管理により、FortiExtender の無線 WAN 接続を効率化
- **REST API**、スクリプト、ファブリックコネクタによる自動化、さらにオートメーションスッチ（ワークフローの自動化）を活用して、複雑さとコストを削減
- フォーティネットのファイアウォール、スイッチ、ワイヤレス製品のワークフローと構成を自動化
- ADOM を活用して顧客データを分離し、ドメインを管理することで、コンプライアンスと効率的な運用を実現
- 高可用性によってバックアップを自動化し、すべての管理対象デバイスのソフトウェア更新やセキュリティ更新を効率化

ハイライト

一元管理

一元管理は、フォーティネットデバイスの集中的な管理やプロビジョニングの手法を提供します。フォーティネットのデバイスがフォーティネット セキュリティ ファブリックに統合されることで、アクセス制御とセグメンテーションが適用され、デバイス、アプリケーション、ユーザーの一貫性ある保護が実現します。

デバイスの構成およびプロビジョニング

FortiManager は、FortiGate、FortiExtender、FortiSwitch、FortiAP、SD-WAN など、最大 10 万台のデバイスを集中管理する豊富なツールを備えており、ネットワーク管理者の能力が拡大します。

デバイスの設定を一括で構成したり、変数を使用する新しい高度な CLI テンプレートやプロビジョニングテンプレートを使用すると、単一のコンソールからファームウェアやポリシーのパッケージを割り当てることが可能で、これには監査向けのポリシーやオブジェクトのリビジョン履歴も含まれます。

また、FortiManager は、拡張された SSL および証明書をサポートしており、高度な SSL-SSH プロファイル構造が可能だけでなく、制限付きの IPS アドミンプロファイルを使用できるため、専用の IPS ソリューションからフォーティネット製品に移行することが容易になります。

デバイス構成のバックアップとリビジョン管理の自動化により、日々の管理タスクが容易になるほか、強化されたイベントログビューで変更を追跡することで、構成や変更の詳細を確認し、監査やコンプライアンスに対応できます。

また、FortiManager を利用すると、管理者は FortiSwitch でカスタムコマンドの構成や割り当て、FortiSwitch Manager メニューから MCLAG を構成することが可能です。

マルチテナントとロールベースの管理

FortiManager は、詳細なデバイス管理およびロールベースの管理機能を備えており、ネットワーク上の各デバイスやユーザーを明確に可視化します。これにより、大規模企業向けのゼロトラストやマルチテナントのデプロイメントが容易になり、複数の顧客にサービスを提供するために、階層型のオブジェクトデータベースを使用して共通する構成を再利用することが可能です。

ADOM（管理ドメイン）を利用すると、独自のセキュリティポリシーや構成データベースを使用して、セキュリティ環境を独立して管理することができます。直感的な GUI により、管理者は ADOM を表示、複製、管理したり、ADOM に対するグローバルオブジェクト、ポリシー、セキュリティプロファイルを定義することが容易なほか、ヘルスチェックを利用して ADOM の同期を確認できます。

FortiManager はゼロタッチデプロイメントを備えており、テンプレートを利用してデバイスをプロビジョニングして、大規模なデプロイメントに迅速に対応できます。また、ファームウェアの遠隔アップデートもサポートしており、ファームウェア要件を定義してインストールやアップグレードが可能です。

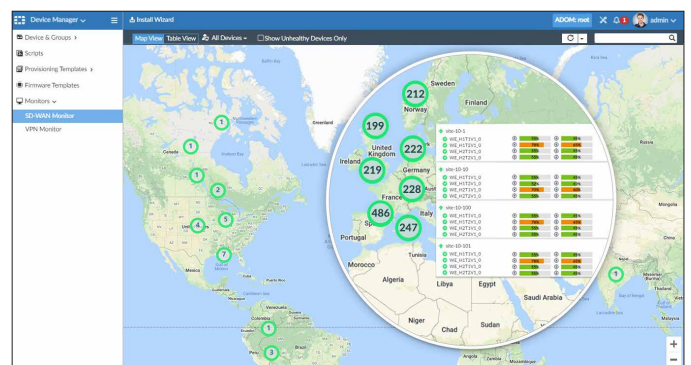
IPS アドミンは、IPS 関連のオブジェクトの構成とインストールだけを実行できる、制限付きのユーザーロールです。また、アドミンユーザーは、ユーザーごとの UI の背景テーマを独自に割り当てることが可能で、視覚的に関連付けることができます。

セキュリティポリシーおよびオブジェクトの管理

FortiManager のポリシービューとオブジェクトビューでは、管理者はデバイスのポリシーを一元的に管理および構成することが可能で、これらにはネットワーク設定、アンチウィルスの定義、侵入防止シグネチャ、アクセスルール、ソフトウェアの更新などが含まれます。

グローバルポリシー機能により、MSSP、PaaS プロバイダーは、すべてのポリシーパッケージや選択したパッケージに対して ADOM レベルでヘッダーやフッターのポリシーを適用できます。ポリシービューとオブジェクトビューにリビジョン履歴が追加されました。変更した管理者のアカウント、変更日、サマリー、および変更メモ（変更理由を入力するための必須フィールド）が表示されるようになりました。

各ポリシーにはロック機能があり、ポリシーが変更されるとポリシールールが自動的にロックされるため、管理者はポリシーに対する変更の制御が可能になりました。また、管理者はよく使用するポリシーをポリシーブロックとしてグループ化して、別のポリシーパッケージに挿入することもできます。



セキュア SD-WAN

FortiManager では、大規模な環境においても、直感的なワークフローと簡素化されたプロビジョニング機能を活用し、SD-WAN のパワフルな管理が実現します。アプリケーション中心の SD-WAN ビジネスポリシーを利用し、WAN プロバイダー毎のパフォーマンスサービスレベル契約（SLA）目標に基づいてトラフィックステアリングを詳細に調整できます。

SD-WAN モニタリングダッシュボードを使用すると、管理者はアプリケーションのパフォーマンスや WAN リンクごとの帯域幅の利用状況を監視したり、FortiAnalyzer を統合して、高度な分析ビューや SDWAN 評価レポートを利用できます。

ハイライト

詳細な可視化による管理と監視

FortiManager のデバイスマネージャーを利用すると、管理者はフォーティネットの管理対象デバイス、インタフェース、スクリプト、テンプレート、自動化、ユーザー、設定などを完全に可視化して、利用および管理することができます。ダッシュボードやウィジェットはカスタマイズが可能で、ポリシーをインストール、編集、削除したり、FortiGate の状態を監視して、リソースの利用状況、DHCP のネットワークステータス、IPsec や SSL VPN、ルーティング、トラフィックシェーパーなどを確認できます。階層ツリーから、管理対象のデバイス、ログ用デバイス、不正なデバイスに簡単に移動することが可能で、表示をカスタマイズして、テーブルビュー、フォルダービュー、マップビューで表示できます。

ファブリックビューを使用して、セキュリティ ファブリック レーティングや FortiGate のデバイスやグループの構成を確認できます。セキュリティやネットワークの重要な統計、さらには、リアルタイムの監視やトポロジ情報へのアクセスが可能になり、ネットワークやユーザーの活動が可視化されます。FortiAnalyzer アプライアンスや仮想マシン (VM) を追加することで、強力な分析、アセット情報やアイデンティティ情報を含む高度なファブリックビュー、詳細なデータマイニング、統計分析、グラフィカルなレポート機能を実現します。

FortiManager の HA (高可用性)

FortiManager の HA (高可用性) は、信頼性、データ保護、冗長性、運用パフォーマンスを強化し、決定されたアップタイムと可用性の要件が保証されます。動作中の FortiManager で障害が発生した場合、バックアップの FortiManager に処理が引き継がれるため、デバイスへのシームレスなアクセスとビジネスクリティカルネットワークの連続運用が実現します。バックアップはプライマリが 1 台、セカンダリが最大 4 台まで構成することができます。

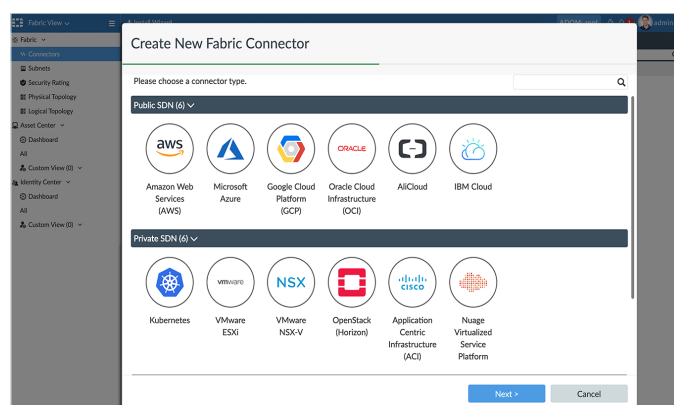
FortiManager HA クラスタウィザードでは、各クラスタメンバーのホスト名を定義したり、GUI からセッション選択オプションを表示したり、各クラスタメンバーを管理する専用のインタフェースを選択することが可能です。

セキュリティ ファブリックの自動化

ネットワークおよびセキュリティオペレーションの可視性 (NOC / SOC)

FortiManager は NOC-SOC のワークフローに対応しており、パフォーマンスを最適に管理するネットワークチームをサポートします。セキュリティ (SOC) ワークフローとオペレーション (NOC) ワークフローの自動データ交換によって、単一の完全なワークフローが作成されるため、時間を節約できるだけでなく、インシデント対応を追加してアクションを完結させることもできます。

FortiAnalyzer と統合することで可視性が大きく向上し、高度なデータの可視化と分析が可能になり、アナリストは点と点をすばやくつなげて、脅威を特定したり、管理対象デバイスの構成やセキュリティを迅速化 / 簡素化することができます。



自動化 / コネクタ

FortiManager から API を介して FortiGate NGFW やフォーティネット セキュリティ ファブリックにクエリを実行することで、自動化とオーケストレーションを活用してネットワーク運用を最適化することが可能で、ネットワーク情報を積極的に収集 / 共有したり、エンドツーエンドな可視性やレスポンスを拡大することができます。

FortiManager を使用すると、REST API、スクリプト、コネクタ、FortiGate オートメーションスッチを活用して複雑さやコストを削減して、時間がかかるプロセスを自動化し、ワークロードを高速化できます。これにより、NOC や SOC のチームが管理タスクを軽減し、人材不足の問題を解決することができます。管理者は、FortiGate NGFW のプロビジョニングや新規または既存のデバイスの構成などの共通タスクを自動化することができます。

[Fortinet Developer Network \(FNDN\)](#) にご参加いただくと、自動化やカスタマイズに関する会員向け情報やハウツーコンテンツ、コミュニティ内で開発されたツール、スクリプト、サンプルコードなどを利用できるようになります。

ハイライト

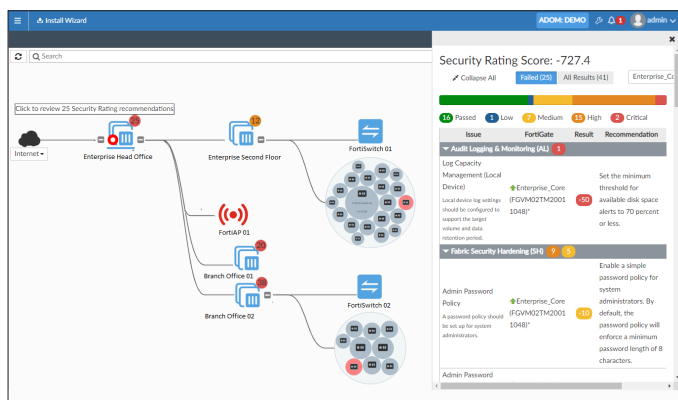
NOC クラウドサービス

管理機能拡張

管理機能拡張画面によって、セキュリティ ファブリック製品が増えた場合でも一元管理の対象として迅速に追加できます。内蔵エンジンが、FortiGuard Labs 脅威インテリジェンスから取得した、コンテナ化された MEA（管理機能拡張アプリケーション）を実行します。

FortiManager の MEA には、以下のモジュールが含まれています。

- **SD-WAN オートメーション**：SD-WAN ネットワークの FortiGate NGFW を構成、管理、監視します。
- **FortiPortal**：クラウドベースのセキュリティとログ管理によって、MSSP（マネージドセキュリティサービスプロバイダー）による制限付きアクセスの移譲を可能にします。
- **FortiWLM**：FortiManager で管理する FortiGate の無線ネットワークを監視、運用、管理します。
- **FortiSigConverter**：Snort のネットワーク侵入検知および侵入防止システムのルールを、フォーティネットがサポートする IPS シグネチャに変換して、FortiManager に直接導入します。
- **FortiAuthenticator**：アイデンティティおよびアクセス管理を提供することで、管理者による保護されたネットワーク資産へのアクセスの提供、ユーザーのアクティビティやセキュリティポリシーのコンプライアンスの追跡を可能にします。
- **FortiSOAR**：完全なセキュリティオーケストレーション、自動化、レスポンス機能を備えています。ご利用には FortiSOAR のサブスクリプションが必要です。



ダイナミッククラウドセキュリティ

フォーティネットクラウドセキュリティおよび管理ソリューションは、PaaS ベースのデリバリオプションを備えており、クラウドベースの FortiManager から FortiGate デバイスを一元管理することができます。

FortiManager Cloud は、自動化の利用や一元的な管理機能を備えており、導入や管理が容易で、柔軟性があり、拡張も可能です。

ポータルへのシングルサインオンを利用して、フォーティネット NGFW や SD-WAN を管理できます。Cloud-init サービスが内蔵されており、管理者は KVM、AZURE、AWS の仮想インストール用の作成済みのイメージを簡単にカスタマイズすることができます。FortiManager のクラウドベースのネットワーク管理を使用すると、フォーティネットデバイスを自動化して管理することで、FortiGate のプロビジョニングを円滑化することができます。

FortiCloud Premium サブスクリプションに加えて、SOCaaS ライセンスを購入することで、FortiManager Cloud サービスを利用することが可能です。幅広いフォーティネットのソリューションの利用 / 管理が可能のため、ネットワーク管理やセキュリティ管理が簡素化します。お客様は、FortiCloud シングルサインオンポータルから FortiManager クラウドに簡単にアクセスできます。

セキュリティ ファブリック / サードパーティ統合

FortiManager は、ITSM との統合によってセキュリティイベントの減災、構成変更の適用、ポリシーの更新を可能にします。また FortiAnalyzer とのシームレスな統合により、ネットワークセキュリティイベントの綿密な検知、分析、優先順位付け、およびレポート作成の機能を提供します。

ファブリックコネクタを使用することで、vCenter、pxGrid、Clearpass、OCI、ESXi、AWS などのサードパーティベンダー製品と接続し、データの共有や交換が可能になります。

FortiManager の監査とコンプライアンスのワークフローが、ポリシーの変更のレビュー、承認、監査を可能にし、自動化プロセスによるポリシーのコンプライアンス、ポリシーのライフサイクル管理、ワークフローの強制によるリスクの軽減などが実現します。

トラステッドプラットフォームモジュール（TPM）暗号化

FortiManager G シリーズは、暗号鍵の生成、保存、認証を TPM で実行して物理ネットワークアプライアンスを堅牢化する専用のマイクロコントローラーモジュールを搭載しています。このハードウェアベースのセキュリティメカニズムが、悪意のあるソフトウェアやフィッシング攻撃からユーザーを保護します。

仮想ソリューション

FortiManager VM

FortiManager VM（仮想マシン）は、多数の仮想化プラットフォームで動作することを前提に設計された、ハードウェアアプライアンスのソフトウェアバージョンで、FortiManager アプライアンスのすべての最新機能を利用できます。フォーティネット ネットワーク セキュリティの数台から数千台までの任意の数のデバイスを一元管理でき、集中管理、コンプライアンスのベストプラクティス、ワークフローの自動化のサポートにより、高度な脅威保護を実現します。FortiManager VM は、サブスクリプションまたは永続ライセンスのどちらでも利用できます。

FortiManager VM S シリーズ

FortiManager VM S シリーズは、FortiManager VM の新しいサブスクリプション型ライセンスモデルです。VM 製品と FortiCare サポートが 1 つの SKU に統合されており、製品の購入、アップグレード、更新が簡素化されます。

FortiManager VM S シリーズは、10 台、100 台、1,000 台のデバイス / VDOM の管理に対応する積み上げ方式のサブスクリプションであるため、一度に複数の SKU を購入することで、必要に応じてデバイス / VDOM の数を増やすことができます。異なる単位の SKU を同時購入し、管理デバイス / VDOM の総数を増やすことも可能です。

FortiManager VM

FortiManager VM は、積み上げ方式のライセンスモデルで提供されます。FortiManager ハードウェアアプライアンスのソフトウェア版であるこのバージョンは、多くの仮想化プラットフォームで動作するように設計されており、ご利用中の環境の拡張に伴って柔軟な仮想ソリューションの拡張が可能になります。FortiManager 仮想アプライアンスは、ネットワークの監視や維持に必要な労力を最小限に抑制すると同時に、FortiManager ハードウェアアプライアンスと同じ機能をすべて提供します。

技術仕様

FortiManager 仮想アプライアンス	FortiManager VM-10-UG	FortiManager VM-100-UG	FortiManager VM-1000-UG	FortiManager VM-5000-UG
システム性能				
管理デバイス数 / VDOM 数 (最大) ^{1, 3}	+ 10	+ 100	+ 1,000	+ 5,000
ストレージ容量	200 GB	1 TB	4 TB	8 TB
ログ処理 GB / 日 ²	2	5	10	25
シャーシ管理	⊙	⊙	⊙	⊙
仮想マシン				
サポートするハイパーバイザー	最新のハイパーバイザーのサポートは、FortiManager の各バージョンのリリースノートをご確認ください。 https://docs.fortinet.com/product/fortimanager/ にアクセスし、一番下のセクションにある「Release Notes」に進み、「Product Integration and Support」→「FortiManager [version] support」→「Virtualization」よりご参照ください。			
仮想 CPU 数 (最小 / 最大)	4 / 無制限			
仮想 NIC 枚数 (最小 / 最大) ⁴	1 / 4			
ストレージ容量 (最小 / 最大)	100 GB / 16 TB			
メモリ (最小 / 最大)	8 GB / 無制限 (64-bit の場合)			
高可用性 (HA)	○			

1. 仮想 UTM (VDOM) 毎に 1 ライセンスとしてカウントされます。

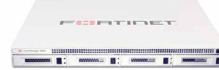
2. ストレージ容量とログ処理 GB / 日については、積み上げ式のライセンス体系ではありません。これらの値は購入したライセンスで利用できる最大値です。

3. 「+」は、デバイスのアドオンライセンスが購入可能であることを意味しています。

4. VM は、最大 12 の vNIC インタフェースをサポートします。6.4.3 以降を実行している場合実際に使用可能なインタフェース数は、クラウドプラットフォームにより異なります。



技術仕様



FortiManager アプライアンス	FortiManager 200G	FortiManager 300F	FortiManager 400G
システム性能			
管理デバイス数 / VDOM 数 (最大) ¹	30	100	150
持続ログレート	50	50	50
ログ処理 GB / 日	2	2	2
ハードウェア仕様			
ストレージ容量	8 TB (2 × 4 TB)	16 TB (4 × 4 TB)	32 TB (8 × 4 TB)
利用可能なストレージ (RAID 構成時)	4 TB	8 TB	24 TB
RAID ストレージ管理	○ (0, 1)	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 10)	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 6, 6s, 10, 50, 60)
デフォルト RAID レベル	1	10	50
形状	ラックマウント (1 RU)	ラックマウント (1 RU)	ラックマウント (2 RU)
インタフェース	4 x RJ45 GbE	4 x RJ45 GbE, 2 x SFP	4 x GbE RJ45, 2 x SFP
シリアル管理コンソールインタフェース	RJ45	RJ45	RJ45
リムーバブル HDD	—	☑	☑
冗長電源 (ホットスワップ対応)	—	☑ *	☑
TPM 暗号化	—	—	☑
サイズ			
高さ x 幅 x 奥行	4.4 × 43.8 × 41.6 cm	4.4 × 44.3 × 56.3 cm	8.8 × 44.5 × 56.5 cm
重量	10.2 kg	13.0 kg	16 kg
動作環境			
AC 電源	100 ~ 240 V, 50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC, 50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V, 50 ~ 60 Hz
消費電力 (平均 / 最大)	90.1 W / 99 W	108 W / 186 W	140 / 182 W
放熱	337.8 BTU/h	634 BTU/h	621 BTU/h
動作温度	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C
保管温度	-25 ~ 75 °C	-35 ~ 70 °C	-20 ~ 75 °C
湿度	20 ~ 90% (結露しないこと)	20 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)
動作高度	最高 2,250 m	最高 2,250 m	最高 2,250 m
準拠規格・認定			
準拠規格	FCC Part 15 Class A, RCM, VCCI, CE, UL / cUL, CB	FCC Part 15 Class A, RCM, VCCI, CE, BSMI, KC, UL / cUL, CB, GOST	FCC Part 15 Class A, RCM, VCCI, CE, UL / cUL, CB

1. 仮想 UTM (VDOM) 毎に 1 ライセンスとしてカウントされます。
 グローバルポリシーおよび高可用性はすべてのモデルでサポートされています。
 * オプションの冗長 AC 電源は含まれません。

技術仕様



FortiManager アプライアンス	FortiManager 1000F	FortiManager 2000E	FortiManager 3000G	FortiManager 3700G
システム性能				
管理デバイス数 / VDOM 数 (最大) ^{1, 2}	1000	1,200	+ 4,000	+ 10,000
持続ログレート	50	50	150	150
ログ処理 GB / 日	2	2	10	10
ハードウェア仕様				
ストレージ容量	32 TB (8 × 4 TB)	36 TB (12 × 3 TB)	64 TB (16 × 4TB)	240 TB (60 × 4 TB) HDD + 19.2 TB (6 × 3.2 TB) NVMe SSD
利用可能なストレージ (RAID 構成時)	24 TB	30 TB	56 TB	224 TB
RAID ストレージ管理	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 6, 6s, 10, 50, 60)	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 6, 6s, 10, 50, 60)	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 6, 6s, 10, 50, 60)	○ (0, 1, 1s, 5, 5s, 6, 6s, 10, 50, 60)
デフォルト RAID レベル	50	50	50	50
形状	ラックマウント (2 RU)	ラックマウント (2 RU)	ラックマウント (3 RU)	ラックマウント (4 RU)
インタフェース	2 x RJ45 10 GbE, 2 x SFP+ インタフェース	4 x GbE, 2 x 10 GbE SFP+	2 x GbE RJ45, 2 x 25 GbE SFP28	2 x 25 GbE SFP28, 2 x 10 GbE RJ45
シリアル管理コンソールインタフェース	DB-9	DB-9	DB-9	DB-9
リムーバブル HDD	✓	✓	✓	✓
冗長電源 (ホットスワップ対応)	✓	✓	✓	✓
TPM 暗号化	—	—	—	✓
サイズ				
高さ x 幅 x 奥行	8.9 × 43.7 × 65.0 cm	8.9 × 43.7 × 64.8 cm	13.2 × 44.0 × 65.0 cm	17.8 × 43.7 × 76.7 cm
重量	15.42 kg	26.3 kg	30.15 kg	54.6 kg
動作環境				
AC 電源	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、 50 ~ 60 Hz	100 ~ 127 V 以上 / 10 A、 200 ~ 240 V 以上 / 5 A Hz	2,000 W AC ³
消費電力 (平均 / 最大)	192.5 W / 275 W	293.8 W / 354 W	449 W / 541 W	850 W / 1423.4 W
放熱	920 BTU/h	1209 BTU/h	1846.5 BTU/h	4858 BTU/h
動作温度	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C	0 ~ 40 °C	10 ~ 35 °C
保管温度	-40 ~ 60 °C	-40 ~ 70 °C	-20 ~ 75 °C	-40 ~ 70 °C
湿度	8 ~ 90% (結露しないこと)	8 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)
動作高度	最高 2,250 m	最高 2,250 m	最高 2,250 m	最高 2,250 m
準拠規格・認定				
準拠規格	FCC Part 15 Class A、RCM、 VCCI、 CE、UL / cUL、CB	FCC Part 15 Class A、RCM、 VCCI、CE、 UL / cUL、CB	FCC Part 15 Class A、RCM、 VCCI、CE、BSMI、KC、 UL / cUL、CB、GOST	FCC Part 15 Class A、RCM、 VCCI、CE、BSMI、KC、 UL / cUL、CB、GOST

1. 仮想 UTM (VDOM) 毎に 1 ライセンスとしてカウントされます。
グローバルポリシーおよび高可用性はすべてのモデルでサポートされています。
2. 「+」は、デバイスのアドオンライセンスが購入可能であることを意味しています。
3. 3700F は、200 V ~ 240 V の電源に接続する必要があります。

FORTINET®
フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.com/jp/contact

お問い合わせ